下都賀地区生涯学習研究会機関紙　第４３号

ネットワーク

平成２８年９月
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内
Tel　0282-23-3422
Fax　0282-23-3502
E-mail
shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

本年度最初にお届けする「ネットワーク第 43 号」は、小山会長のごあいさつ、小山市立間々田東小学校の熊倉先生から小山市立羽川西小学校の長野先生にバトンパスされました「となりの社教主事」、そして、今夏、茨城大学や国立教育政策研究所社会教育実践研究センターにて社会教育主事講習を修了しました“ニューフェース”の皆さんの御紹介を中心に御案内いたします。

今年度も“新たな仲間”をお迎えし、さらに下都賀地区の生涯学習を振興し、社会教育を推進していきたいと考えております。これからも本会にお力添えをくださいますようお願いいたします。

「よろしくお願いします！」

下都賀地区生涯学習研究会　会長
小山市立大谷東小学校　校長　小山　義雄

こんにちは！ 小山市立大谷東小学校校長、小山義雄（おやま よしお）です。この度、平成２８年度の会長を務めさせていただくことになりました。１年間、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、８月に次期学習指導要領の基となる中教審の「審議のまとめ」が公表され、年度内の改訂に向けた作業が進んでいます。また、県では、今年、『教育ビジョンとちぎ 2020』や『とちぎ輝き「あい」育みプラン』が新しく出されています。平成２８年はある意味、リ・スタートの年です。

これからは、「社会は個々が自律した学習者として学ぶ場」そして「学校はそのお膳立てをする場」という考え方が必要になるように思います。その中で学校と地域が相互に関わり合い、学校を核として地域社会が活性化していくことが求められ、その一翼を担うものが「社会教育主事有資格者」ではないでしょうか。

そんな会員の方々の拠り所として、 微力ではありますが、本会活動の充実とともに皆さんとのつながりに努力していきたいと思います。

重ねて、皆さんのあたたかいお力添えのほどを心よりお願いいたします。

リレー　「となりの社教主事３６」
「地域についての理解を深める」

小山市立羽川西小学校　長野　岳水

今年度新たに地域連携教員となり、学校と地域とのつながりを深めるべく、自分に何ができるのかを考えながら活動している。最も意識して取り組んでいるのは、自分自身が地域の方々との関わりを増やし、「地域についての理解を深める」ことだ。そして、その結果分かってきたのは、学校や子どもたちを積極的に支えようとしてくれている方々が、とても多いことである。

学校が担う『子どもの教育』という課題に対し、地域の方々も同様に課題意識を持ち、学校支援のボランティア活動に参加するなど進んで活動してくださっている事実には、本当に勇気づけられる。

昨年９月の水害に際しても、いろいろな場面で力強く学校を支えてくださる地域の方々、保護者の姿があった。このような学校と地域との「一体感」を維持･発展させることに、少しでも貢献できるようにしたい。

第１回研修会・懇親会報告

５月２１日（土）、栃木市サンプラザにおいて平成２８年度下都賀地区生涯学習研究会総会並びに第１回研修会が開催されました。

研修会では、平成２８年２月に策定された「栃木県生涯学習推進計画五期計画」の概要について、栃木県立栃木商業高等学校 粕谷知之 教諭（元 栃木県教育委員会事務局生涯学習課社会教育主事）に御講演いただきました。

今後５カ年の栃木県の施策の方向性を知り、私たち有資格者・地域連携教員等の取組みを考える貴重な機会となりました。

ニューフェイス

平成２８年度、今夏の社会教育主事講習は茨城大学及び国立教育政策研究所社会教育実践研究センターで行われました。修了者６名に登場いただき、熱い思い等を語っていただきます。

「社会教育主事講習を終えて」
壬生町立壬生中学校　　髙橋 唯拓

今回の講習を通して、講師の先生方や受講した仲間と出会い「つながり」がもてたこと、社会教育の内包する可能性や方向性を学べたことにとても感謝しています。さらに、社会教育の実践的課題や具体的な方策を検討したり、コミュニティや学校教育との現代的連携を考えたりすることで視野が広がりました。

社会教育の視点を今後の教育活動に生かしていきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

「社会教育主事講習を終えて」
小山市立豊田中学校　　増山 純子

この講習を受けさせていただいたことで、自分の視野があまりにも小さいことを痛感いたしました。

社会の課題に向き合い、積極的に活動されている方々からの講義を受け、広い視野をもつ子どもを育てるためには、社会教育を学校教育の現場でどのように生かしていくかを考えなければならないと思いました。

「学校は魔法を教えているところ」
栃木市立栃木南中学校　　神戸 隆良

『学校でほうきの乗り方を教えたら30年後にはその子が鉄のかたまりを飛ばすかもしれない。』『子どもが未熟さを乗り越え、幸せになるための技術や知識を手渡す事こそ教師の仕事。』目から鱗が落ちる瞬間の連続でした。視野の狭さ、多様な視点から物事を捉えること、人を引きつける話術等を学びました。今後は、社会教育の視点を大切に生活していきたいです。

「社会教育主事講習を終えて」
下野市立薬師寺小学校　　芋川 晴恵

社会教育主事講習を受講させていただき、社会教育の現状や学校と地域の連携の重要性など、多くのことを学ぶことができました。また、自分の視野の狭さに気付かされ、広い視野を持って物事を捉えることの大切さを痛感した日々でした。

この講習を通して学んだ事を少しでも生かせるよう、努力していきたいと思います。

「社教主事講習を終えて」
野木町立南赤塚小学校　櫻井 朝美

著名な先生方の講義や全国の先進的な取組を拝聴し、様々な演習を通して、社会教育の大切さを実感することができきました。学校教育に限られていた自分の視野も広げることができました。

学校と地域が連携した子どもの育成や地域社会の活性化を目指し、講習で学んだことを今後の教育活動に意図的に取り入れられるよう努力していきたいと思います。

「熱かった上野・社会教育の夏」
野木町教育委員会事務局
生涯学習課スポーツ振興係　川俣 智英

日々の業務の中で頻繁に出てくる「連携」「ネットワーク」というフレーズ。漠然と重要なものと思っておりましたが、社会教育主事講習をとおしてその重要さを見直しました。国社研で学んだこと、つながった人たちは大切な財産となりました。この経験を基に、どのような場所でもいつでも広い視野を持ちながら職務に生かしていきます。

第２回研修会案内

【第２回研修会】
「下都賀地区ふれあい学習研修会
～社会教育主事有資格者ステップアップ研修Ⅰ～
◆日　時　平成 28 年 11 月 18 日（金）　13:30～16:30
◆会　場　ニューアプロニー

【懇　親　会】
◆会　場　ニューアプロニー
◆時　間　17:30～19:30（予定）
◆会　費　5,000 円
◆申込み　別通知にてお願いいたします

編 集 後 記

夏休みの余韻に浸る間もなく始まった運動会の練習。力を出し切り疲れ切っていた閉会式。生徒会長の締めの言葉が終わったとき、「立派！！」と声が掛かりました。最後まで見守ってくださった地域の方の声でした。つながるって温かい。ネットワーク第４３号をお届けします。　　（N）

情報交換“地域連携”

○地域連携ってどんなことをするの？
○会員同士で情報交換をしていきましょう！

「地域探訪～旬の味覚を味わう～」

下野市立細谷小学校　坂本　順子

児童数３９名、素直で明るい子どもたちが、自然豊かな環境のもと、元気に学校生活を送っている。小規模特認校として、地域の協力を得て、さまざまな体験活動を実施している。食いしん坊の私は、食にまつわる３つの活動を紹介する。

一つ目は、春のイチゴ狩り。イチゴ農家のハウスで、スカイベリーを摘ませていただいた。ハウスに入ると、甘い香りが立ちこめていた。数年前に、子どもたちがお邪魔させていただいた時期もあったが、今回は久しぶりの訪問となった。その後、イチゴ農家の方は、運動会にも顔を出してくださった。

続いて、夏のマヨネーズ教室。これは、企業の出前授業であるが、当日の朝、農園で育てたキュウリを収穫し、自分たちで作ったマヨネーズで試食。なんという贅沢。農園は、地域の方のご厚意で貸していただいている。少人数のため、手入れが行き届かない時もあるが、温かく見守ってくださっている。

最後は、なし狩り。学校から徒歩５分。子どもの顔ほどの大きな果実に、私もびっくり。残暑厳しい中であったが、秋を感じるひとときとなった。旬の時期に合わせて日程を組むことができたのも、果樹園の方の協力のおかげである。

二度目の赴任という、恵まれた機会をいただいた。地域とともにある学校づくりに向けて、私がやることは、まだまだありそうだ。

【春のイチゴ狩り】

【なし狩り】

「地域の祭りに主体的に参加」

栃木市立都賀中学校　教諭　渡部　智裕

本校の地域連携教育では、「生徒のシティズンシップ（市民性）の育成」、「学校と地域との関わりを深め、地域社会で生徒を育てようとする風土の醸成」を目指し、学校と地域が双方向で協力をする相互ボランティアを推進しています。

地域の方々には、学習支援ボランティアや環境ボランティアとして学校に協力していただいています。学習支援ボランティアでは、夏休み学習教室のお手伝いや学校祭で行う伝統芸能の指導などをしていただいています。環境ボランティアでは、除草作業やリサイクル品回収時のトラック協力、文化協会の方の作品を廊下に展示していただく都賀中ギャラリーなどといった形でご協力いただいています。

生徒は、地域活動ボランティアとして、地域のお祭りや公民館主催行事においてお手伝いのボランティアをさせていただいております。様々な地域行事がありますが、その中でも都賀地域最大のお祭りである「まるまるまるごとつがまつり」では、ボランティアとして４０名近くの生徒が参加しています。昨年度からは、生徒会本部役員が実行委員会に出席し、小物づくりブースを出展しています。

本校では、中学生が地域に出て地元のお祭りの運営を体験することで、自分が大人になったときに何らかの形で地域に貢献できるようになることを期待しています。

【まるまるまるごとつがまつり】

【学校祭に向けた杖術の練習】